

平成 24 年 03 月 29 日 「玉手箱を作る」

掲載日:2012 年 3 月 29 日

平成 24 年 03 月 29 日 「ウサヒの近況 ~ 玉手箱を作る ~」

ちょっと間が空いてしまいましたが先日の日記の続きです。

20 日は祝日でしたが、

中の人・佐藤はウサヒを連れて山形市にってきました。

この日はメディア取材があり、午前中は FM 山形さんの朝の番組「My 朝」の中で

地域活動をしている方々にスポットをあてたインタビューコーナー

「My 朝フォーカス」に出演させていただきました。

地域おこし協力隊として、全国的にも珍しい「着ぐるみ」で活動していることや、

現在製作中の空気神社のお土産のお話など、

どこにも無い、ちょっと不思議な地域おこしのコトをお話してきました。

特に、前もって質問などは決まっていないトークの形式でしたが、

あと 2 時間くらいは話せる気がするの(ちょっと言いすぎかな?)、

パーソナリティーの伊藤さんのリードもさることながら、

朝日町がわりと話題に出来るネタを豊富に持ってるからだなど、改めて感じました。

続いて午後は、ウサヒの Web 漫画を制作している学生さんと一緒に

読売新聞さんの取材を受けてきました。



漫画の作者、船木さんと、僕とウサビ(頭)

漫画連載に至るまでの経緯や、

気に入っている Web 漫画のストーリーなどをお話しました。

ちなみに、僕はスキージャンプをするウサビが好きです。



ウサビの構造について、記者さんに真剣に説明する2人

こちらの取材は、どのタイミングで掲載されるかは未定のように、

僕らがいかにウサビを楽しんでいるかをたくさん聞いていただきました。

「シュールな笑いを誘うキャラクターだから、もっと積極的に町外に出て行くといい」

と、記者さんからアドバイス。

町の人たちと一緒に、おもしろい企画考えて、町外でのPRも頑張ろうと思います。

日付変わって3月22日。

翌日に、山形市でとある大きな対談イベントをかかえた我々は、

主催者になにかお土産を送ろうと思い立ちました(前日だけ)。

中の人「何か、朝日町のギフト詰め合わせみたいなものってありませんかね〜」

とぼやいていると、上司のサクマさんが、

サクマさん「確か数年前に、商工会の青年部で朝日町のギフトを開発したことあったよ、

とのこと。

さっそく当時の広報あさひまちを探してみると

2007年12月の広報にこんな記事が



「今年もやります！昭和たまため箱発送式」(2007年12月の広報より)

手作りの木箱に和合のりんご、棚田米などを詰めた

ギフト品として販売していたようです。

中の人「この企画はいい！ぜひお土産に買っていこう」

さっそく、たまたま箱の受付先だった近江屋さんへと向かいます。



町の文具屋、店内にプリント倶楽部 2 が置いてある近江屋さん。

受付を担当していた鈴木さんに話を聞いてみると、

手作りの木箱を用意するなど、なかなか手間がかかるギフトだったため、

昭和たまたま箱は現在もうやっていないとのこと。

お土産探しはまたふりだしにかと思いきや、

当時の木箱だったら残っていると、鈴木さんが木箱を譲ってくれました。



これが昭和たまて箱の木箱。りんごが 18 個も入る。

当時は、木箱を旧送橋小学校で組み立て、

りんご、棚田米、リンゴサプレー、紅葉でつくったしおりを入れて送っていたそうです。

さて、当時の中身もわかり、箱も手に入れたものの、

肝心の今、中身が無いのではどうしようもありません。

さらに、この大きなボックスを埋めれるかという、はっきり言って自信ないし…

そんなことを考えていたのですが、その時あるアイデアがひらめいたのです。

中の人「このたまて箱風に、小さいたまて箱を作ればいいじゃん！」

さっそく、コメリさんでちょうどいい大きさの箱を購入。

箱に張るシートをパソコンで作ります。



続いて、中の商品を集めます。



自然観に棚田米を買いに行く

なるべく、昭和たまため箱の中身を忠実に再現しようと思い

・産直和合のリンゴ

・棚田米

・リンゴサブレ(今回は永勝堂さんの10枚入りリンゴサブレ)

を用意しました。



今回の商品

そして詰めます。



みごとなピッタリ感

こうして完成したのがコチラ

さあ、予想の斜め上をいく熱い対談の様子は次回の日記で！